

「令和 8 年度基礎レベルの日本語教室業務委託」  
公募型プロポーザルによる事業者選定結果について

1. 案件名称

令和 8 年度基礎レベルの日本語教室業務委託  
(契約期間: 契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで)

2. 選定した実施予定事業者

大阪教育文化振興財団・大阪 YWCA 共同事業体  
(代表構成員: 一般財団法人大阪教育文化振興財団)

3. 公募期間

令和 7 年 12 月 17 日から令和 8 年 2 月 2 日

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿

役職等	委員名
大阪産業大学 教授	新矢 麻紀子
大阪大学 特任講師	今井 貴代子
中小企業診断士	岡島 卓也

(2) 選定委員会の開催日

第 1 回: 令和 7 年 12 月 10 日 (水)

第 2 回: 令和 8 年 2 月 26 日 (木)

(3) 選定基準

評価項目	審査内容	配点
事業理念	<ul style="list-style-type: none"><li>本事業の目的を十分に理解し、その実現に資する方針や内容が示されているか。</li></ul>	5
企画内容	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎的な日本語習得ができる内容となっているか。</li><li>実施教室数や受け入れ定員が十分に確保され、事業対象者に対して必要な学習機会を提供できているか。</li><li>具体的かつ実現可能なスケジュールが提案されているか。</li><li>事業対象者のニーズに合った実施日程・時間・会場・受講料等が設定されているか。</li><li>指導人員の資格や人数等、教室の指導体制は十分か。</li><li>効果検証の手法や内容、検証に基づいた改善手法は適切であるか。</li><li>事業対象者に効果的にアプローチできる具体的な広報方法が示されているか。</li><li>申込受付・受講者の決定・受講者への対応等は適切で</li></ul>	50

	あるか。 ・ 事業対象者の学習意欲を高めるための仕組みや創意工夫が十分に盛り込まれた内容であるか。	
事業実施体制	・ 事業を実施するために必要かつ十分な人員配置となっているか。 ・ 個人情報の保護及び管理体制は適切かつ十分に整っているか。 ・ リスク管理（安全管理・緊急時の対応）体制は十分に整っているか。 ・ 個人情報保護および人権に関する研修内容は適切かつ十分であるか。	20
事業実績	・ 類似の事業実績があり、事業の実施に足る専門性やノウハウを有しているか。	15
事業経費	・ 経費見積額は、提案内容に対して適正であるか。	10
合計（委員1名あたり）		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

- ・ 大阪教育文化振興財団・大阪 YWCA 共同事業体
- ・ 株式会社サクシード
- ・ 株式会社 BREXA CrossBorder
- ・ ヒューマンアカデミー株式会社

全 4 者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点：300 点満点）

基準項目	A 団体	B 団体	C 団体	D 団体
事業理念	15	10	9	5
企画内容	120	105	101	98
事業実施体制	52	44	44	39
事業実績	41	33	32	13
事業経費	22	19	20	16
合計	250	211	206	171

(6) 附帯意見

- ・ 外国人住民への情報発信にあたっては、国籍・地域等によって日常的に利用される SNS が異なるという特性を踏まえ、各 SNS の利用状況や拡散性、情報の受け取り方の違いを把握した上で、広報媒体としての活用を検討されたい。
- ・ これまでの実績や従来の手法にとらわれることなく、受講者視点に立った、創意工夫を凝らした新たな取組の企画・開発に積極的に努められたい。特にオンラインを活用した手法については、より一層の工夫と継続的な改善に努められたい。
- ・ テキストについては、語彙の修正にとどまらず、学習意欲の喚起及び学習内容の定着の観点からカリキュラム全般をあらためて点検・見直しを行い、それらをテキストにも反映させ、内容の一層の充実と改善に努められたい。